

19日から実証実験

オリコンサルらが飯田市で自動運転バス運行

オリエンタルコンサルタンツは、長野県飯田市の中心市街地で自動運転バス運行の実証実験を19日から21日まで3日間実施する。これに先立ち18日には「自動運転と新たなモビリティに関する講演会」も同市役所で開く。

同市と2023年7月に結んだ「リニア時代を見据えた都市サービスへのデジタル技術の実装に向けた連携協定」の取り組みの一環となる。

実証実験は、飯田市美術博物館、飯田市立動物園、JR飯田駅の三つの停留所を周回するルートを自動運転レベル2で走行する。同社と飯田市、アイサンテクノロジ（名古屋

屋市）、Intelligence Design（東京都渋谷区）、信州大学工学部交通計画研究室が実施。オリエンタルコンサルタンツは、実験の計画策定と運営、評価・分析、交通影響や受容性の検証などを担う。

講演会では、高瀬達夫信州大准教授とアイサンテクノロジ、オリエンタルコンサルタンツの担当者が自動運転技術の開発状況や新たなモビリティの開発動向と活用可能性などを話す予定だ。